

益田市立小中学校再編実施計画

益田市

益田市教育委員会

目 次

1	計画策定の趣旨	1
2	小中学校の現状	2
3	市立小中学校の再編計画	6
	（1）基本的な事項	6
	（2）配慮する事項	7
	（3）再編の枠組み	8
4	実施スケジュール	14
	計画の期間等	14
5	再編に伴う諸課題	14
	（1）再編後の学校と地域活動	14
	（2）郷土愛の育成	15
	（3）市民への周知	15

1 計画策定の趣旨

児童生徒を取り巻く環境は、日本の人口が平成17年に減少に転じるという中で、本市においても児童生徒数の急激な減少とそれに伴う学校の急速で過度な小規模化が進んでいます。教育委員会は、市域全体の児童生徒に対する教育の機会均等を実現するための望ましい学習集団の形成と、活力ある学校づくりを目指す必要があると考えています。

このため教育委員会は、学校再編に対する基本的な考え方について益田市学校整備計画審議会に諮問し、答申を出されたのを受けて、平成20年8月に益田市立小中学校再編計画（以下「基本計画」という。）を策定しました。学校再編の背景や必要性、基本的な考え方については、この基本計画の中で述べています。

平成21年度には、この基本計画に基づいて、市役所内部の学校再編計画推進協議会（以下「推進協議会」という。）で学校の適正配置に関する検討を行いました。推進協議会では、各学校が教職員、保護者や地域の人々の協力により築いてきた学校教育を引き継ぎ、さらに再編後の学校が、活力を有し、時代や社会発展に応じた児童生徒の確かな学力形成や豊かな人格形成が達成できるよう議論を重ねました。この益田市立小中学校再編実施計画（以下「実施計画」という。）は、その議論に基づき、中・長期的な展望に立った学校再編を、将来の児童生徒数の動向等を踏まえて策定したものです。

今後、教育委員会は、各地域において保護者や地域住民を対象とした説明・意見交換会を開催し、実施計画に基づいて再編後の学校運営や地域活動が充実・活性化するものとなるよう、ご意見を聴きながら進めていくこととしています。

それぞれの学校には、地理、風土等に基づいた歴史的経緯と地域住民の熱い思いがありますが、将来に向けた本市の学校教育を考えるときに、子どもたちへのより良い教育環境を整えることは、われわれ大人に課せられた責務であります。そのために、保護者・地域・学校と行政が一体となって話し合い、知恵を出しあう必要があると考えます。

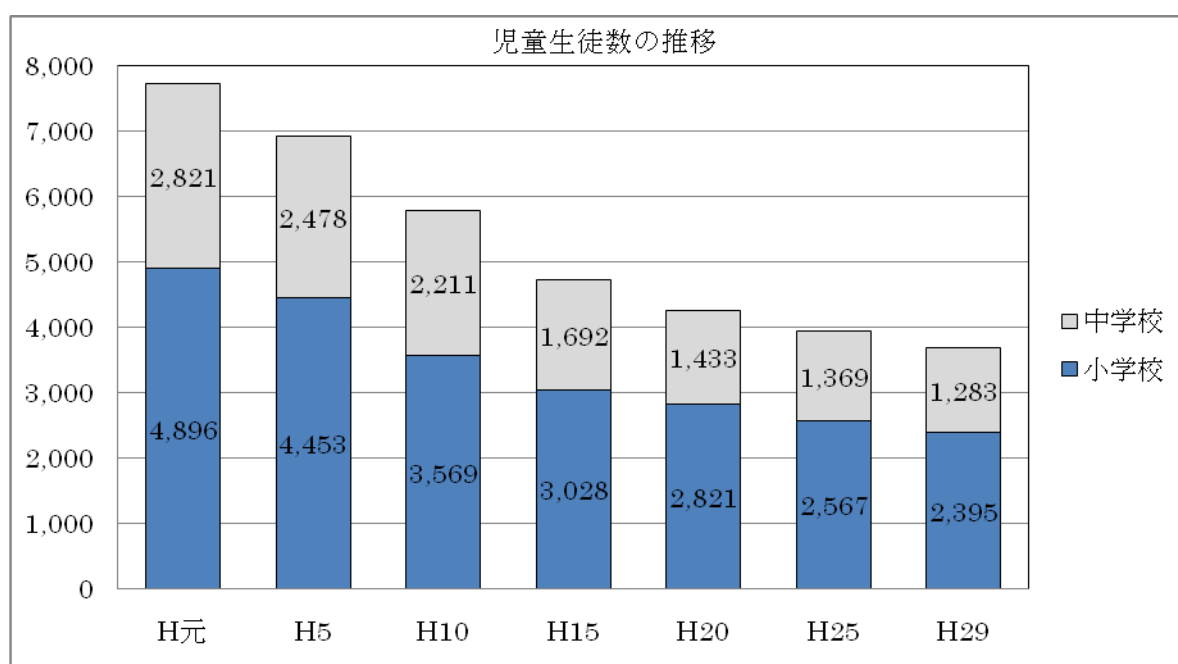
教育委員会は、今後、実施計画の着実な実現に向け、取り組むこととしていきますので、市民の皆様のご協力をお願いするものです。

2 小中学校の現状

小中学校の現状については、基本計画の中で明らかにしていますが、あらためてその現状を示すと下記のとおりです。

児童生徒数の推移

	H元	H5	H10	H15	H20	H25	H29
小学校	4,896	4,453	3,569	3,028	2,821	2,567	2,395
中学校	2,821	2,478	2,211	1,692	1,433	1,369	1,283
合計	7,717	6,931	5,780	4,720	4,254	3,936	3,678



全国的な少子化の傾向と同様に、本市の児童生徒数は年々減少を続け、平成元(1989)年度には7,717人であった児童生徒数が、平成20(2008)年度には4,254人と20年間で約44.8%減少し、この減少傾向は鈍化しながら今後も続くものと予測されます。

市内には小学校19校(分校1校含む。)、中学校12校が設置されていますが、このうち全校児童生徒数が100人未満の学校は小学校13校、中学校7校となっています。また、小学校において9校18学級が複式学級となっており、学習集団の形成と活力ある教育活動が成立しにくくなっています。

(資料1) 学校別児童生徒数及び学級数(見込み)

[小学校] (平成21年度以降の特別支援学級の児童数及び学級数は、各校に含まず別途集計している。)

中学校区	学校名	H元年度		H19年度		H21年度		H23年度見込		H25年度見込		H27年度見込		H29年度見込	
		児童数	H元からの減少率	児童数	▲	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
益田中	吉田小	913		541	▲ 40.7	543	18	565	18	561	18	570	18	571	18
	吉田南小	341		177	▲ 48.1	175	7	189	6	207	6	219	6	208	6
高津中	高津小	850		555	▲ 34.7	566	19	562	18	523	17	467	15	419	13
	益田小	506		414	▲ 18.2	409	14	389	12	362	12	355	12	358	12
益田東中	豊川小	39		71	82.1	68	6	63	6	52	5	40	4	34	4
	安田小	494													
東陽中	種小	27		271	▲ 53.4	276	11	282	12	265	10	242	9	223	7
	北仙道小	61													
鎌手中	鎌手小	225		73	▲ 67.6	70	6	65	6	64	6	68	6	72	6
	真砂小	38		18	▲ 52.6	17	3	20	3	21	3	20	3	20	3
横田中	西益田小	524		238	▲ 54.6	205	6	195	6	176	6	178	6	173	6
	桂平小	43		24	▲ 44.2	22	3	24	3	24	4	21	3	17	3
西南中	美濃小	43		17	▲ 60.5	17	3	18	3	15	3	12	3	8	3
	戸田小	166		68	▲ 59.0	83	6	73	6	75	6	75	6	89	6
小野中	飯浦小	42		19	▲ 54.8										
	中西小	135		72	▲ 46.7	67	5	80	6	91	6	93	6	87	6
中西中	内田分校	56		22	▲ 60.7	22	3	20	2	10	2	8	2	11	2
	東仙道小	97		67	▲ 30.9	59	6	48	5	37	4	33	4	34	4
美都中	都茂小	124		54	▲ 56.5	50	5	47	5	42	4	44	4	47	5
	二川小	27		20	▲ 25.9	16	3	12	3	8	3	4	2	4	2
匹見中	匹見小	75		52	▲ 44.7	46	5	34	3	27	3	21	3	17	3
	澄川小	19													
特別支援学級	道川小	20		4	▲ 80.0	4	2	6	2	7	3	5	2	3	2
	計	4,865		2,777	▲ 42.9	2,715	131	2,692	125	2,567	121	2,475	114	2,395	111
				(各校の児童数に含む)		42	24	29	18	6	6	0	0	0	0

[中学校] (平成21年度以降の特別支援学級の児童数及び学級数は、各校に含まず別途集計している。)

学校名	H元年度		H19年度		H21年度		H23年度見込		H25年度見込		H27年度見込		H29年度見込	
	生徒数	H元からの減少率	生徒数	H元からの減少率	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
益田中	767		397	▲ 48.2	382	11	358	11	351	10	360	11	385	12
高津中	503		241	▲ 52.1	255	8	267	9	282	9	278	9	256	9
益田東中	386		246	▲ 36.3	234	7	257	8	265	9	230	7	212	6
東陽中	262		164	▲ 37.4	154	6	134	5	124	5	144	6	137	6
鎌手中	111		66	▲ 40.5	40	3	39	3	37	3	30	3	31	3
真砂中	25		7	▲ 72.0	10	3	8	2	8	2	9	2	9	2
横田中	279		128	▲ 54.1	135	6	126	4	111	3	89	3	88	3
西南中	70		17	▲ 75.7	20	3	17	3	21	3	19	3	19	3
小野中	105		49	▲ 53.3	45	3	48	3	36	3	36	3	35	3
中西中	95		82	▲ 13.7	71	3	50	3	39	3	45	3	55	3
美都中	149		80	▲ 46.3	70	3	70	3	66	3	57	3	40	3
匹見中	69		44	▲ 36.2	26	3	26	3	29	3	23	2	16	2
特別支援学級	(各校の生徒数に含む)													
計	2,821		1,521	566	1,442	59	1,400	57	1,369	56	1,320	55	1,283	55

平成21年度児童生徒数(H21.5.1)

学年・生徒数 学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計						
	生徒数	学級数 内特支	生徒数	学級数 内特支	生徒数	学級数 内特支	生徒数	学級数 内特支	生徒数	学級数 内特支	生徒数	学級数 内特支	生徒数	学級数 内特支					
益田小学校	58	0	2	63	1	3	72	0	2	84	2	3	60	2	409	3	14	2	
高津小学校	85	0	3	111	1	4	82	0	3	87	0	3	88	2	3	566	6	19	2
吉田小学校	97	0	4	90	0	3	102	6	3	71	2	2	93	1	3	543	10	18	3
吉田南小学校	24	0	1	32	0	2	27	0	1	33	1	1	31	0	1	175	2	7	1
安田小学校	47	0	2	55	0	2	42	1	2	34	0	1	50	0	2	276	5	11	2
鎌手小学校	9	0	1	10	0	1	11	0	1	13	0	1	14	0	1	70	2	6	2
真砂小学校	3	0	0	4	0	1	2	0	0	1	0	0	2	0	1	17	0	3	
豊川小学校	14	0	1	8	0	1	15	1	1	12	0	1	9	0	1	68	1	6	1
西益田小学校	21	1	1	35	2	1	33	2	1	39	0	1	38	0	1	205	6	6	4
桂平小学校	3	0	0	4	0	1	4	0	0	2	0	0	4	0	1	22	0	3	
美濃小学校	2	0	0	2	0	1	4	0	1	2	0	0	3	0	1	17	0	3	
戸田小学校	13	0	1	12	0	1	12	1	1	12	0	1	20	0	1	83	2	6	2
中西小学校	9	0	1	14	0	1	5	0	0	11	0	1	14	0	1	67	0	5	
内田分枝	6	0	1	7	1	1	4	0	0	5	0	1	5	0	1	22	1	3	1
東仙道小学校	6	0	1	9	0	1	10	0	1	12	1	1	13	1	1	59	2	6	2
都茂小学校	5	0	1	10	0	1	10	0	1	9	0	0	7	0	1	50	0	5	
二川小学校	3	0	0	2	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	1	16	0	3	
匹見小学校	3	0	1	8	0	1	10	0	0	5	0	1	7	1	1	46	2	5	2
道川小学校	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	4	0	2	
計	409	1	21	477	5	28	435	6	17	498	19	24	439	6	17	2715	42	131	24
益田中学校	129	1	4	114	2	3	139	5	4							382	8	11	3
高津中学校	92	0	3	77	0	2	86	2	3							255	2	8	2
益田東中学校	92	2	3	63	0	2	79	0	2							234	2	7	2
東陽中学校	50	0	2	43	1	2	61	2	2							154	3	6	2
鎌手中学校	12	0	1	13	0	1	15	0	1							40	0	3	
真砂中学校	5	0	1	3	0	1	2	0	1							10	0	3	
横田中学校	49	2	2	43	1	2	43	0	2							135	3	6	1
西南中学校	6	0	1	8	0	1	6	0	1							20	0	3	
小野中学校	16	0	1	16	0	1	13	0	1							45	0	3	
中西中学校	20	0	1	24	2	1	27	0	1							71	2	3	1
美都中学校	27	0	1	16	0	1	27	0	1							70	0	3	
匹見中学校	6	0	1	8	0	1	12	1	1							26	1	3	1
計	504	5	21	428	6	18	510	10	20							1,442	21	59	13

(参考 1) 平成 21 年度島根県公立小・中学校学級編制基準

区 分		小学校	中学校
単式学級	第 1 学 年	40 人	40 人
	第 2 学 年		
	第 3 学 年		
	第 4 学 年		
	第 5 学 年		
	第 6 学 年		
2 個学年 複式学級	第 1 学年の児童生徒を含む場合	8 人	
	第 1 学年の児童生徒を含まない場合	16 人	
特 別 支 援 学 級		8 人	8 人

※ 中学校においては、特別支援学級を除きすべて「単式学級」として編制される。小学校における「2 個学年複式学級」は、1・2 年、3・4 年、5・6 年の組合せで編成される。

※ 小学校第 1 学年、第 2 学年の 1 学級の児童数が 31 人以上の学校については、30 人学級編制と島根スクールサポート事業（非常勤講師を 1 名配置）のいずれかが実施される。

3 市立小中学校の再編計画

(1) 基本的な事項

- ・平成 20 年度に策定した「益田市立小中学校再編計画」による基本的な考え方にに基づき、適正な学校規模の確保を図ります。
- ・再編した学校は、新設の学校とします。
- ・学校の再編は、学級数や児童生徒数の視点のみからとらえるのではなく、子どもたちにより良い教育環境を整備するという視点で進めます。

※益田市立小中学校再編計画による基本的な考え方

(小学校)

- ① 複式学級編制の小学校については早期に解消を図る。
- ② 1 学年の児童数が 20 人から 30 人程度の規模の確保を目指す。

(中学校)

- ③ 中学校は、1 学年複数学級を目標とする

再編にあたっては、市域全体の児童生徒に対する教育の機会均等を実現するための望ましい学習集団の形成と活力ある学校づくりを目指し、児童生徒の通学負担の軽減を配慮しつつ、児童生徒と保護者、地域にとってより望ましい学校再編を、次の基本的事項に基づき実施します。

- ① 中1ギャップの発生をできるだけ防ぎ、学校と地域活動との相互関係、小学校と中学校の連続した教育を念頭に置き、近隣校との統合により再編を行います。
- ② 再編後の校舎は、できるだけ既存の施設を使用することとし、必要に応じて、教育環境の確保・向上のための整備を行います。また、校舎・体育館の耐震化は安全確保の面からも緊急の課題であることから、計画的に耐震補強工事を実施し、安全安心な教育環境を確保します。
- ③ 校舎を新設する場合は、立地条件、児童生徒数の状況、施設・設備、安全性、既存の公共交通による通学の利便性や将来の改築を想定した学校敷地の状況等を比較検討し、総合的に判断します。
- ④ 学校の再編に伴う諸事項を協議・決定するための組織として、地元で学校再編対策協議会（以下「対策協議会」という。）を設置していただき、合意の中で進めます。特に学校跡施設については、地域住民の意向を十分聴きながら、全市的な視野と、幅広い視点から時代のニーズにあった有効活用を探っていきます。

（２） 配慮する事項

再編にあたっては、次の各項目について配慮しながら進めます。

- ① 再編までの間の交流学习等の学校運営について配慮します。
- ② 各学校で実施されている学校経営や特色ある教育活動は、調整を図りながら、できるだけ新しい学校に引き継がれるよう配慮します。
- ③ 教職員の配置、クラス編制等については、児童生徒が再編による環境変化に対応できるよう、学校と教育委員会で事前に十分協議します。また、実施においては、児童生徒の学習面と精神面に配慮した体制づくりに努めます。
- ④ 通学については、通学路を国や県の協力も得ながら整備を進めるとともに、児童生徒にとっての過重な負担に考慮しつつ、スクールバスの運行などの適切な通学方法を検討します。また、関係機関とも協議し安全

安心な通学体制の確保を図ります。

- ⑤ 校区が広がることにより、放課後児童クラブ等の放課後対策についての需要が高まることから、保護者等の意向を踏まえ充実に努めます。
- ⑥ 再編による新たな保護者の負担が発生しないように、制服や体操服や教材などが変更される場合は、教育委員会が支給します。
- ⑦ それぞれの学校の歴史や伝統を尊重し、新しい学校に継承されるよう、校歌・校旗等の取り扱いについては、対策協議会の中で関係者の皆さんと協議し、同意を得ながら進めます。

再編後の学校名については、前計画での懸案事項であり、別に校名検討委員会を組織して、市全体としての方向性を決めた後、各々の対策協議会と協議していきます。

- ⑧ 美都、匹見地域については、平成16年度に合併して期間が短いため、学校規模が今回の再編計画での基本的考え方に合致していない状況もありますが、旧町域を越えた再編計画としていません。

(3) 再編の枠組み

(小学校)

複式学級の解消と学年(学級)規模の確保を目指して、19校を9校に再編します。

【再編する学校】

※複式学級の学校(9校)

- ・真砂小学校 ・桂平小学校 ・美濃小学校
- ・中西小学校 ・中西小学校(内田分校)・都茂小学校
- ・二川小学校 ・匹見小学校 ・道川小学校

※今後複式学級が見込まれる学校、又は複式学級となる可能性のある学校(4校)

- ・鎌手小学校 ・豊川小学校 ・戸田小学校 ・東仙道小学校

※益田市全体での小学校配置の状況により再編する学校(2校)

- ・益田小学校 ・安田小学校

【現状とする学校】

※全学年が複数学級ではないが学年(学級)規模のある学校(2校)

- ・吉田南小学校 ・西益田小学校
- ※全学年複数学級の学校（2校）
- ・高津小学校 ・吉田小学校

再編の組み合わせ

○益田小学校、真砂小学校、豊川小学校の3校統合

真砂小学校は、全学年複式学級です。豊川小学校は、今後複式学級の開設が見込まれる学校です。益田小学校は、全学年複数学級になっていますが、益田市全体での小学校の配置等を勘案し、再編を進めます。

再編後の校舎は、益田小学校校舎を使用することとし、再編校の名称は、対策協議会で協議します。

学校名	H21 年度			H25 年度見込			H29 年度見込		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
益田小	409	14	68.2	362	12	60.3	358	12	59.7
豊川小	68	6	11.3	52	5	8.7	34	4	5.7
真砂小	17	3	2.8	21	3	3.5	20	3	3.3
統合校	494	18	82.5	435	12	72.5	412	12	68.7

(※特別支援学級の児童生徒数及び学級数は含んでいない。※学年平均は6で除した数値である。)

○安田小学校、鎌手小学校の2校統合

鎌手小学校は、今後複式学級の開設が見込まれる学校です。安田小学校は、5年生の単式1学級を除いて他の学年は複数学級になっていますが、益田市全体での小学校の配置等を勘案し、再編を進めます。

再編後の校舎は、統合学校全体の校区の状況から安田小学校校舎を使用することとし、再編校の名称は、対策協議会で協議します。

学校名	H21 年度			H25 年度見込			H29 年度見込		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
安田小	276	11	46	265	10	44.2	223	7	37.2
鎌手小	70	6	11.7	64	6	10.7	72	6	12.0
統合校	346	12	57.7	329	12	54.8	295	12	49.2

(※特別支援学級の児童生徒数及び学級数は含んでいない。※学年平均は6で除した数値である。)

○桂平小学校、美濃小学校、中西小学校、中西小学校内田分校、戸田小学校の5校統合

桂平小学校、美濃小学校と中西小学校内田分校は、全学年複式学級

です。また、中西小学校は一部複式学級、戸田小学校は、今後複式学級の開設が見込まれる学校です。このため、益田市全体での小学校の配置等を勘案し、再編を進めます。

再編後の校舎は、現在の5校の校区の状況を勘案し、対策協議会に十分な検討協議をいただき、それを尊重して決定します。再編校の名称等は、対策協議会で協議します。

学校名	H21 年度			H25 年度見込			H29 年度見込		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
桂平小	22	3	7.3	24	4	4	17	3	2.8
美濃小	17	3	2.8	15	3	2.5	8	3	1.3
戸田小	83	6	13.8	75	6	12.5	89	6	14.8
中西小	67	5	11.2	91	6	15.2	87	6	14.5
内田分校	22	3	5.5	10	2	2.5	11	2	2.8
統 合 校	211	6	35.2	215	6	35.8	212	6	35.3

(※特別支援学級の児童生徒数及び学級数は含んでいない。※学年平均は6で除した数値である。)

○東仙道小学校、都茂小学校、二川小学校の3校統合

二川小学校は、全学年複式学級です。都茂小学校は一部複式学級、東仙道小学校は、今後複式学級の開設が見込まれる学校です。このため、通学方法等の課題に留意しつつ、3校統合を進めます。

再編後の校舎は、現在の3校のいずれかの校舎を使用することとし、対策協議会で十分な検討協議をいただき、それを尊重して決定します。再編校の名称等は、対策協議会で協議します。

学校名	H21 年度			H25 年度見込			H29 年度見込		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
東仙道小	59	6	9.8	37	4	6.2	34	4	5.7
都茂小	50	5	8.3	42	4	7	47	5	7.8
二川小	16	3	2.7	8	3	1.3	4	2	0.7
統 合 校	125	6	20.8	87	6	14.5	85	6	14.2

(※特別支援学級の児童生徒数及び学級数は含んでいない。※学年平均は6で除した数値である。)

○匹見小学校、道川小学校の2校統合

道川小学校は、全学年複式学級です。匹見小学校も一部複式学級を有する学校ですので、益田市全体での小学校の配置等を勘案し、再編を進めます。

再編後の校舎は、匹見小学校校舎を使用することとし、再編校の名称は、対策協議会で協議します。

学校名	H21 年度			H25 年度見込			H29 年度見込		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
匹見小	46	5	7.7	27	3	4.5	17	3	2.8
道川小	4	2	0.7	7	3	1.2	3	2	0.5
統 合 校	50	5	8.3	34	3	5.7	20	3	3.3

(※特別支援学級の児童生徒数及び学級数は含んでいない。※学年平均は6で除した数値である。)

(中学校)

1 学年複数学級化を目指して、12校を8校に再編します。

【再編する学校】

※全学年単式学級の中学校（5校）

- ・鎌手中学校 ・真砂中学校 ・西南中学校 ・小野中学校
- ・中西中学校

※益田市全体での中学校配置の状況により再編する学校（2校）

- ・益田東中学校 ・東陽中学校

【現状とする学校】

※全学年複数学級の中学校（3校）

- ・益田中学校 ・高津中学校 ・横田中学校

※地域的に現状とする中学校（2校）

- ・美都中学校 ・匹見中学校

再編の組み合わせ

○真砂中学校と益田東中学校の統合

真砂中学校は、全学年単式学級です。益田東中学校は、益田市全体での中学校の配置等を勘案し、再編を進めます。

再編後の校舎は、益田東中学校校舎を使用することとし、再編校の名称は、対策協議会で協議します。

学校名	H21 年度			H25 年度見込			H29 年度見込		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
益田東中	234	7	78.0	265	9	88.3	212	6	70.7
真砂中	10	3	3.3	8	3	2.7	9	3	3
統 合 校	244	8	81.3	273	9	91	221	6	73.7

(※特別支援学級の児童生徒数及び学級数は含んでいない。※学年平均は3で除した数値である。)

○東陽中学校と鎌手中学校の統合

鎌手中学校は、全学年単式学級です。東陽中学校は、益田市全体での中学校の配置等を勘案し、再編を進めます。

再編後の校舎は現在の東陽中学校校舎を使用することとし、再編校の名称は、対策協議会で協議します。

学校名	H21 年度			H25 年度見込			H29 年度見込		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
東陽中	154	6	51.3	124	5	41.3	137	6	45.7
鎌手中	40	3	13.3	37	3	12.3	31	3	10.3
統合校	194	6	64.70	161	6	53.7	168	6	56

(※特別支援学級の児童生徒数及び学級数は含んでいない。※学年平均は3で除した数値である。)

○西南中学校、中西中学校、小野中学校の3校統合

西南中学校、小野中学校と中西中学校は、全学年単式学級です。このため、益田市全体での中学校の配置等を勘案し、3校統合を進めます。

再編後の校舎は、対策協議会で十分な検討協議をいただき、それを尊重して決定します。再編校の名称等は、対策協議会で協議します。

学校名	H21 年度			H25 年度見込			H29 年度見込		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
西南中	20	3	6.7	21	3	7	19	3	6.3
小野中	45	3	15	36	3	11.3	35	3	11.7
中西中	71	3	23.7	39	3	13	55	3	18.3
統合校	136	6	45.3	96	3	32.0	109	3	36.3

(※特別支援学級の児童生徒数及び学級数は含んでいない。※学年平均は3で除した数値である。)

再編の枠組み

《現 在》

《再 編 後》

益田小 豊川小 真砂小	益田東中 真砂中	⇒	益田小・豊川小・ 真砂小統合校	益田東中・真砂 中統合校
高津小	高津中	⇒	高津小	高津中
吉田小 吉田南小	益田中	⇒	吉田小 吉田南小	益田中
安田小 鎌手小	東陽中 鎌手中	⇒	安田小・鎌手小 統合校	東陽中・鎌手中 統合校
西益田小	横田中	⇒	西益田小	横田中
桂平小 美濃小 戸田小 中西小 内田分校	西南中 小野中 中西中	⇒	桂平小・美濃小・ 戸田小・中西小・ 内田分校統合校	西南中・小野 中・中西中統合 校
東仙道小 都茂小 二川小	美都中	⇒	東仙道小・都茂 小・二川小統合 校	美都中
匹見小 道川小	匹見中	⇒	匹見小・道川小 統合校	匹見中

小学校 19 校 中学校 12 校 ⇒ 小学校 9 校 中学校 8 校

4 実施スケジュール

計画の期間等

- ① この実施計画の計画期間は、平成21年度から平成29年度までの9年間とし、順次、再編を進めます。
また、対象地域の状況に対応するため、5年を経過した時点で見直しを行います。
- ② 実施に当たっては、市民学習課、地域振興課及び子育て支援課の職員等との協力体制を充実させていきます。
- ③ 再編対象校のうち、現在、小規模化の著しい学校については、早期の再編を目指します。
- ④ 小学校と中学校の再編が同時に計画される地域は、計画期間を調整します。3校以上の統合を予定している学校においては、緊急を要する学校から順次再編を進めます。
- ⑤ 再編の実施は、対策協議会と協議を進め、合意の中で進めます。
- ⑥ 対策協議会は、再編の取り組みの状況を勘案しながら平成21年度以降、早期の設置を要請していきます。

5 再編に伴う諸課題

(1) 再編後の学校と地域活動

各学校においては、これまでも、地域の人材を活用した学習や、地域の自然や歴史、郷土芸能などそれぞれの特性を活かした授業や課外活動を行うなど、地域に根ざした特色ある学校づくりに取り組み、成果を上げてきました。

一方地域においては、様々な生活体験、社会体験、自然体験を活発にすることが、学校と地域社会が融合して進める生涯学習にとって期待さ

れていることから、活動の中核拠点としての公民館が重要な役割を果たしてきました。

ほとんどの地域においては、今まで学校と公民館区域が同じでしたが、今回の再編により、多くの地域で校区と公民館の対象区域が異なることとなります。

このような中で、広くなった校区における学社融合や連携事業を幅広く展開し、公民館の持つ学校支援の機能を充実させ、特色ある学校づくりに貢献できる体制の再構築が必要です。

(2) 郷土愛の育成

各学校の児童生徒は、学校での運動会や学習発表会、文化祭等の様々な学校活動を通じて、多くの地域の伝統や文化に触れる機会を与えられてきました。今回の学校再編により校区が広がるために、自分たちの住む地域との関わりが減少し、地域の持つ特色を児童生徒に伝えにくくなることが予想されます。益田市が平成21年度から取り組んでいる「益田の子郷土愛育成事業」や学校や地域による活動により、これを補っていくことが必要です。

(3) 学校跡施設と地域振興

学校施設は、地域にとって中核的な施設であることを踏まえ、学校に代わる地域活動の拠点としての役割を果たすことができないかについて、地域の皆さんの意向を十分聴きながら、幅広い視点から検討を加え、有効活用に向けて継続的努力を図ることが必要です。

(4) 市民への周知

今回の学校再編は、益田市全域にわたるものであり、再編対象区域のみに関わるものではありません。このため、再編の目的や内容はもちろん、今後の進行状況を地域住民や関係者を含めて広く市民に周知することが大切ですので、広報やホームページ等の様々な情報媒体や周知の場を利用して、市民への周知活動を行う必要があります。